

目標達成計画

作成日: 平成 21 年 9 月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(10) (19)	研修報告の提出や発表の方法が確立していない	研修で頂いた資料やレジュメ等に関してコピーを取り、後日職員会議を通じて伝達・講習を行い、参加できなかった職員のためにも、資料を配布や回覧・議事録等で研修を行う方法を徹底し、職員全員でサービスの質の向上の為に情報の共有・周知の方法の確立と徹底を目指します。	研修の報告に関するルールを明確にし、書類提出の徹底と職員会議以外にも伝達・講習のための時間・職員の確保、参加できない職員に対して、参加者及び管理者が回覧研修等の支援を行い、情報の共有と周知に努めます。	12 ヶ月
2	(16) (37)	モニタリングの記録が不完全である	利用者ごとの記録に、定期的に行ったモニタリングの実施記録をファイリングしていく。	計画的にモニタリングが行えるよう、モニタリングの時期を策定明示し、利用者担当職員が実施・記録を行う。モニタリング方法も管理者・主任が指導し、手法や項目に関しても、統一な様式を用いて、同じレベルで行えるように職員の質の確保に努めます。	12 ヶ月
3	(16) (37)	ケアプランの記録がしっかり行えてない	利用者のケアプランと日々のケア実施記録が連結した支援記録になるように、書式や記入方法について再検討し、記述を徹底していく。	全職員で記録様式について見直し、確実に記述できるように周知徹底していく。また、利用者個々のケアプランに挙がっているニーズについても、周知出来る様に努めます。	12 ヶ月
4	(3) (5)	地域との関わりを密に行いたい	地域の方との対話を行い、積極的に地域の行事や活動を利用者の方を主体として共に参加し地域の一員として認識いただき地域の高齢者が気軽に相談に立ち寄れる事業所を目指したい。	地域の状況等を踏まえ、事業所側から、情報や活動の発信を行い、地域に参加や協同呼びかけ、また、事業所に求められる意見や希望・要望等抽出できる様にアンテナを張って行きたい。	12 ヶ月
5					ヶ月